

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	42	学 校 名	静岡県立静岡中央高等学校 通信制の課程	校 長 名	小野田 秀生
------	----	-------	------------------------	-------	--------

1 スクール・ミッション

県内唯一の公立通信制の課程を有する学校として、生徒が学習活動に主体的に取り組むための多様な支援をとおして、社会をつくる豊かな人間性・思考力・創造力を身に付けた、自立した人財の育成を目指す。
--

2 目指す学校

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
このような力を育てます (1) 主体的に考え判断し、他者と協働し行動する力 (2) 自分のよさや可能性を認識し、社会の中で表現できる力 (3) 多様な価値観や互いの人権を尊重し合い、命と心を大切にする力 (4) 学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、努力し学び続ける力	このような教育活動を行います (1) 基礎学力の定着と多様なニーズに応える柔軟なカリキュラム (2) 「自学自習」を尊重し、生徒個々に合わせた丁寧な添削指導 (3) ICTを有効活用したわかりやすい学習指導 (4) 互いを尊重し合い、主体性や協調性を育む特別活動	このような生徒を求めています (1) 「高校を卒業したい」という強く明確な意志を持つ生徒 (2) 自ら計画し、自ら学び、自ら行動することができる生徒 (3) マナーを大切にし、ルールを守ることができる生徒 (4) 他者を認め、尊重することができる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

(G＝グラデュエーションP、C＝カリキュラムP、A＝アドミッションP)

ア 学ぶ喜びを実感できる学習システム、教育課程の構築 (G1・4) (C1・2)

イ 有徳の人を目指し、社会の中で生徒が自己実現できるための指導と支援の実施
(G1・2・3) (C4)

ウ ICT、放送教育の活用、リモート等の新しい通信制での学びについての検討 (C3)

エ 広報活動の促進 (A1・2・3・4)

オ 教職員の資質向上、コンプライアンスの遵守及び働き方改革の具現化
(G1・2・3・4) (C2・3・4) (A3・4)

3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	生徒の変化に対応した指導の在り方の検討	・報告課題指導及び面接指導を生徒の実態に合わせて改善する ・生徒が理解しやすい教科指導に取り組む ・3観点に基づいたRSTを検証し、改善を継続する ・生徒の実態に合わせた学校設定科目を検討する ・学習システムの検討をする	・単位修得率 50% ・新入生の1科目以上単位修得率 60% ・年度当初卒業予定者の卒業率 60% ・生徒アンケート「レポートの内容がよく理解できた」75% ・生徒アンケート「レポート添削指導は丁寧に行われている」90%以上 ・生徒アンケート「スクーリングは学習を進める上で役に立つ」90%以上 ・3キャンパス合同教科会議を年に3回程度実施 ・教育課程検討委員会を3回以上開催 ・新しいRSTの運用について検討を始める	全教職員 教務部教務 各教科 CST委員会

様式第 1 号

	生徒の学習環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒に対応した学習環境の在り方を検討する 生徒が一年を通じて学習を継続し、単位修得に至るための指導・支援方法を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> 新入生へ積極的な声かけにより、ホームルームへの参加数を増やす ユニバーサルデザインの視点に基づく報告課題・補助プリント・掲示物等の改善を継続する ICTを活用した学習支援を工夫する 学習支援日を計画的に設け効率よく実施する スクーリング通信を月 1 回発行と ICT を活用した配信を試行 	教務部教務 教務部情報 生徒部情報
	生徒の学力向上に向けた指導方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> レポート添削やスクーリングでの様子等から生徒の学力や困り感を的確につかみ、指導の検証、改善を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 教員アンケート「生徒の実態に基づき、面接指導(スクーリング)の改善に取り組んだ」100% 教員アンケート「生徒の実態に基づき、報告課題(レポート)の改善に取り組んだ」80% 	全教職員
イ	すべての生徒に充実した支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする生徒等の指導方法を充実させる 教員間における生徒情報の共有を促進し、有効な支援につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な生徒の個別の指導計画を作成する 中学校訪問(春)を実施し、新入生生徒の情報を収集する 生徒情報の入力、職員会議時の情報共有を充実させる 「生徒保健カルテ」の活用を図る ケース会議(生徒支援委員会)を適切に開催する SC や SSW 等、外部人材の有効活用を図る 外部機関との連携を図る 	特別支援 Co. 生徒支援委員会 生徒部生徒 生徒部保健 生徒部総務
	社会の中で自己実現するための支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「自立活動」の充実に向けた支援体制の整備 行事への主体的な参加 生徒会活動の充実 進路面談や外部機関との連携による進路実現 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の目標達成や単位修得のために指導・支援の方法を研究する 個別的教育支援計画を作成する 自立担当以外の教員とも連携し、情報共有を充実させる 生徒アンケート「行事に積極的に参加した」40%以上 就職支援員やジョブサポートティーチャーの活用 外部機関の活用(就労支援) LINE アカウントによる保護者への情報提供を月一回以上 	自立活動委員会 生徒部生徒 教務部進路
ウ	ICTを活用した学習指導や放送教育の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom の活用促進 クロームブックを活用した生徒学習支援の研究および、その他学習支援ツールの研究 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート「Classroom を活用した」50% 教員アンケート「学習支援(スクーリングやレポート)に Classroom を活用した」60% 	教務部情報
	成績処理システムの円滑な運用	<ul style="list-style-type: none"> 成績処理システムへの入力など業務を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 随時マニュアルの改訂を行う 	生徒部情報
	ICTを活用した校務効率化	<ul style="list-style-type: none"> 緊急メールによる情報発信 Google classroom の活用 生成 AI や採点システム等 ICT ツールの活用方法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒登録率 85% (入学生) 教員アンケート「学習支援以外(生徒連絡・進路指導・調査等)に Google classroom を活用した」50% DX 推進委員会の分掌移行に向けた準備を行う 	教務部研修 DX 推進委員会
エ	広報活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 中央高通信やホームページ等を活用した情報を積極的に発信する 広報用資料の更新 通信制への理解を深めるため、入学説明会、中学校訪問(秋)を実施する 外部の学校説明会へ積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 中央高通信を年間 4 回発行 ホームページの改訂 パンフレットとチラシの更新 入学説明会は各キャンパスで年間・3 回延べ 9 回実施する 中学校訪問は各キャンパス 20 回延べ 60 回以上実施する 外部への参加は 3 キャンパス合計年間 20 回以上実施する 	生徒部総務 入試検討委員会

様式第 1 号

オ	教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のキャリアステージを意識した研修の充実 ・校内外の研修を通して教職員の資質・能力等を向上させる ・キャンパスの実情に合わせた研修を実施する ・人権教育を意識した教科指導や特別活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が計画的に研修を実施する ・全教職員による校内研修を 3 回以上実施する ・教員が受けた研修を他の教員に伝達する機会を 5 回以上設定する ・人権教育全体計画に基づき、年間指導計画を作成する 	教務部研修 全教職員
	コンプライアンス遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス遵守に向けた日常的な声掛け ・誤送事故防止の具体定方策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故ゼロの達成 ・発送時の複数チェックにより誤送事故ゼロを達成 	全教職員
	業務の精選と効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容が見える化し、業務見直しや精選を行う ・ICT を活用した業務の効率化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌で業務の整理分担を行う ・教員アンケート「ICT(Classroom やクロームブック等)を活用したことで業務改善が進んだ」50% ・ICT 活用が「できる」「ややできる」と答える教員 90%以上 	全教職員
	生徒の安心安全確保のための防災意識の向上と対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの実情に合わせた実践的な防災・安全指導を実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校、他課程や、地域との連携を図る ・教科指導を通し防災意識の向上を図る 	生徒部総務 各教科

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。